

第 2 2 章

災害及び事故

第 2 章 災害及び事故

水稻被害

平成 20 年における府内の水稻被害の概況は、被害面積 8450ha、被害量 1270t、被害率 4.4%で、前年に比べ被害面積は 750ha (9.7%) の増加となり、被害量は 17.0%の減少となった。

労働災害

平成 20 年における府内の労働災害による死傷者数は、死者が 71 人、負傷者(休業4日以上)と合わせて 9677 人で、前年より 95 人の減少となった。

産業別にみると、製造業での死傷者が 2588 人で全体の 26.7%を占め最も多く、以下、商業 1268 人(構成比 13.1%)、陸上貨物運送業 1266 人(同 13.1%)の順となっている。最も多い製造業の中では、鉄鋼・金属製品製造業が 923 人と大きな割合を占めている。

火災

平成 19 年における府内の火災件数は、前年より 257 件増加し 3632 件(前年比 7.6%増)、死傷者は 11 人減少し 808 人(同 1.3%減)となっており、損害額は 48 億 4791 万円増加の 101 億 9241 万円(同 90.7%増)であった。

月別では、3 月の 382 件(構成比 10.5%)が最も多く、次いで 1 月の 334 件(同 9.2%)の順になっている。

地域別では、大阪市地域が 1392 件(構成比 38.3%)で最も多く、次いで北河内地域 459 件(同 12.6%)、泉北地域 442 件(同 12.2%)となった。

発火源別にみると、「たばこ・マッチ」が前年と比べ 160 件増加し 1469 件(前年比 12.2%増)で最も多く全体の 40.4%を占め、次いで、「都市・プロパンガス関係」が 33 件増加し 549 件(前年比 6.4%増、構成比 15.1%)となっている。

また、平成 19 年度末現在の府内の防火対象物数は、前年より 488 棟増加し 24 万 9100 棟(前年比 0.2%増)となった。

交通事故

平成 20 年における府内の交通事故発生件数は、5 万 3769 件(前年比 9.0%減)、死者 198 人(同 20.2%減)、負傷者 6 万 4290 人(同 9.3%減)となった。

事故発生の主原因者となった第一当事者別では、車両関係 5 万 2149 件、歩行者 19 件、不明 1601 件となっている。

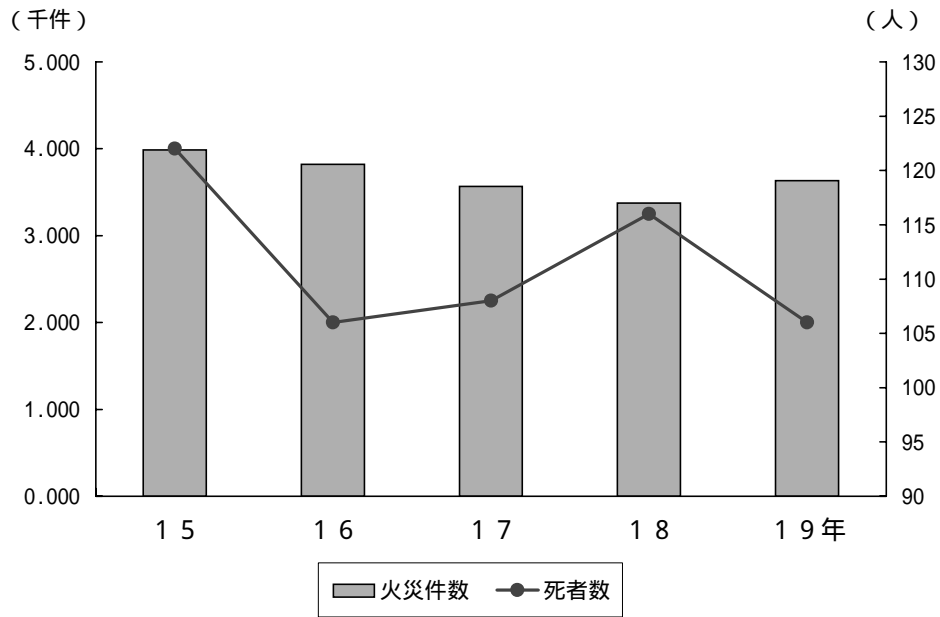
このうち車両関係を車種別にみると、普通乗用車が 2 万 5618 件と 49.1%を占め最も多く、以下、軽乗用車 7331 件(構成比 14.1%)、軽貨物自動車 4745 件(同 9.1%)、普通貨物自動車 4394 件(同 8.4%)、原付(50cc 以下) 3603 件(同 6.9%)の順となっている。

また、法令違反別にみると、安全不確認 2 万 5358 件(構成比 48.6%)、前方不注意 7998 件(同 15.3%)、動静不注視 6489 件(同 12.4%)の順となっている。

一方、歩行者関係の事故件数は、第一当事者及び第二当事者合わせて 4307 件で、死者 62 人、負傷者 4403 人となっており、横断中の事故が 2445 件と全体の 56.8%を占めている。

なお、全国の交通事故発生件数は、76 万 6147 件(前年比 8.0%減)でこれを都道府県別にみると、東京都の 6 万 1525 件(構成比 8.0%)が最も多く、以下、大阪府 5 万 3769 件(同 7.0%)、愛知県 5 万 2719 件(同 7.0%)の順となっている。

火災件数と死者数の推移



交通事故件数と死者数の推移

